

WEB公開用

NAFSA2024 ニューオーリンズ大会 《STUDY IN JAPAN 日本合同ブース》 出展団体アンケート集計結果

回答：ブース出展 29団体中 29団体（回答率：100%）

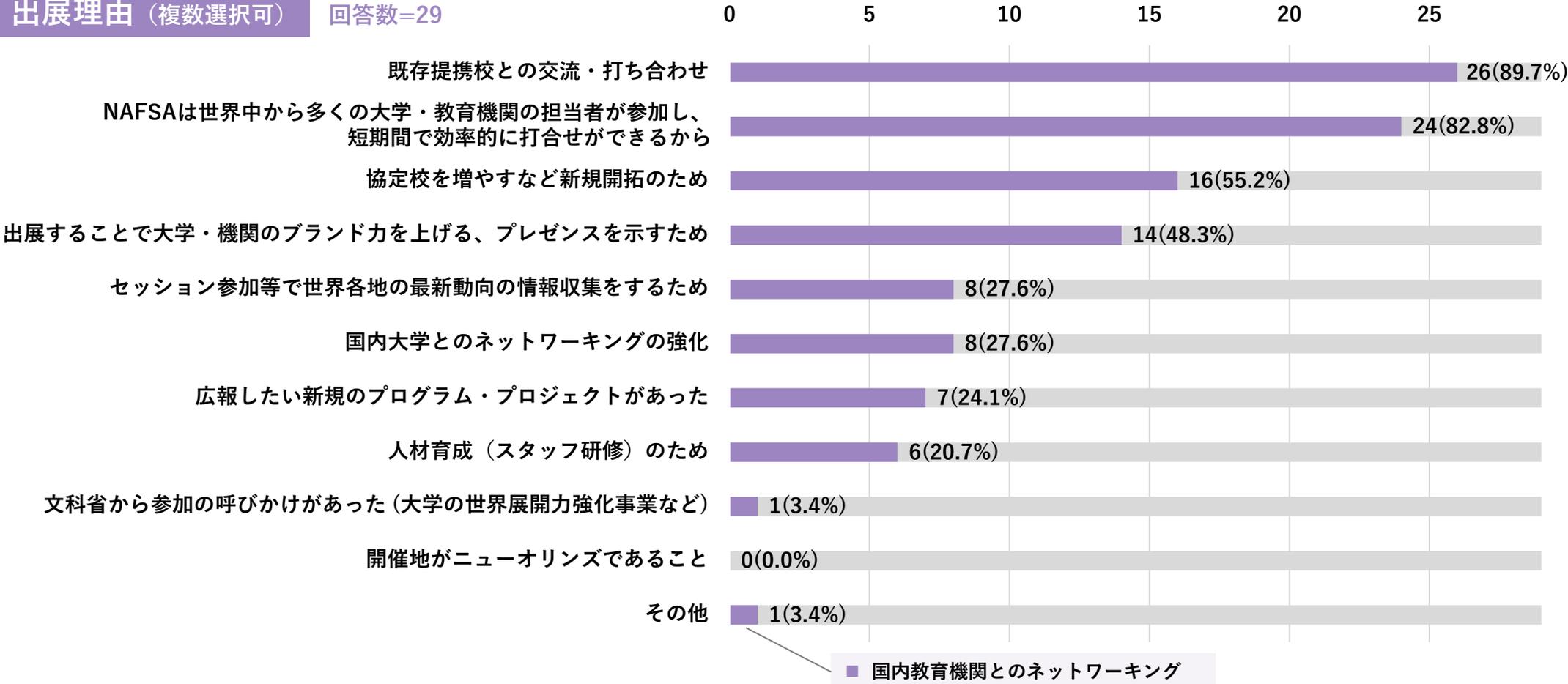
- ◎大会終了後（2024年7月）にWEBアンケートを実施。
- ◎実際に参加された教職員の方に回答を依頼。

1

NAFSA2024ニューオリンズ大会に出展した理由を教えてください。

1. 出展理由 (複数選択可)

回答数=29

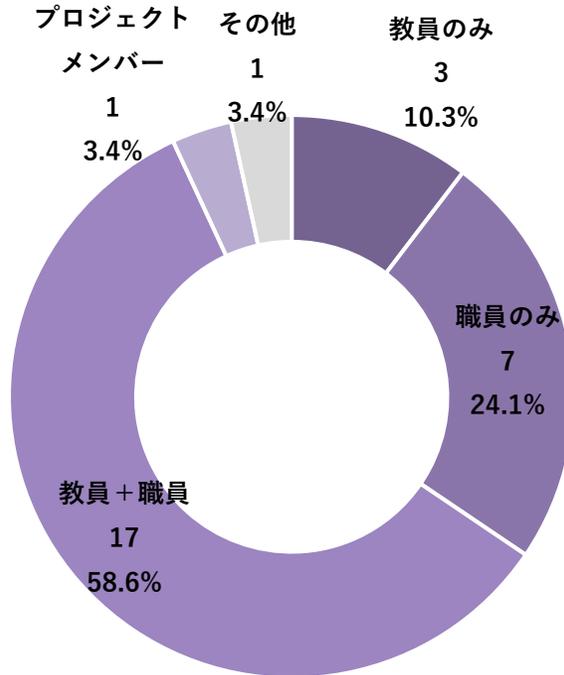


2

ブース対応の出展参加者について伺います。

2-1. 出展者カテゴリー（複数選択可）

回答数=29

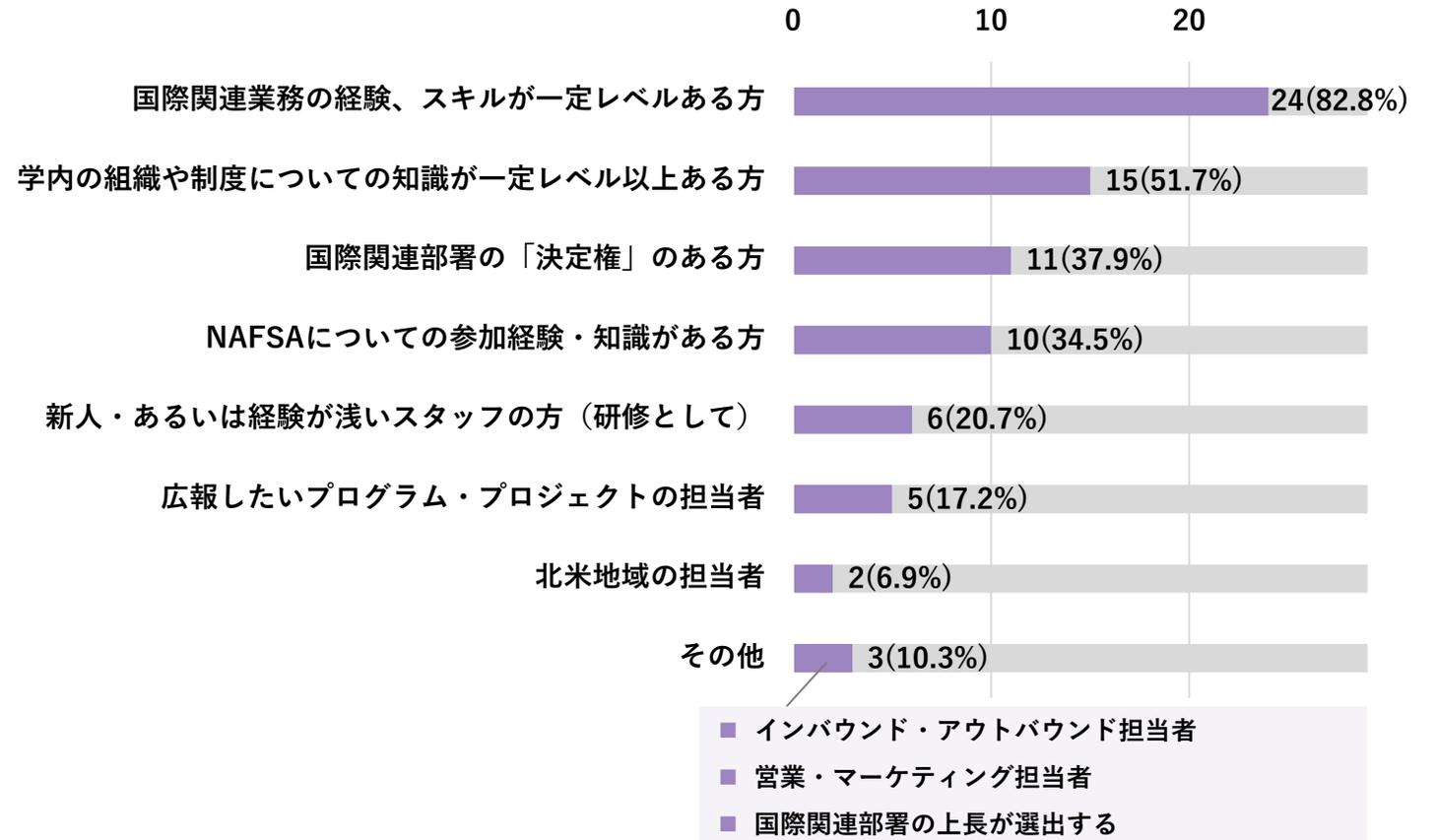


※その他（1） ■ 社員

※複数回答可としていたが、単一回答のみのため円グラフにて集計

2-2. 出展者選出の基準（複数選択可）

回答数=29

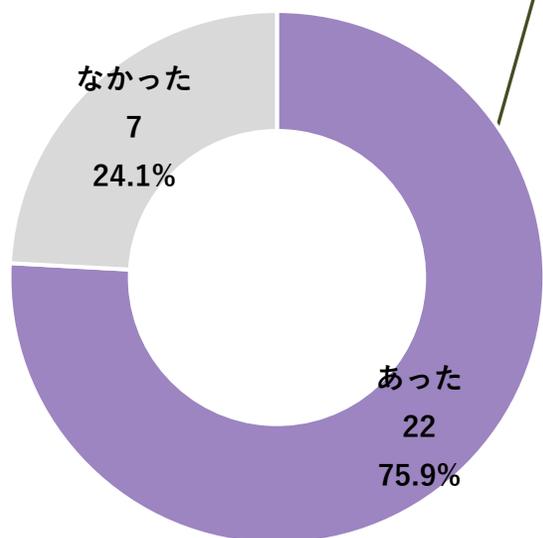


3

今回のNAFSA2024ニューオリンズ大会の出展参加について、昨今の円安やインフレの影響はありましたか。

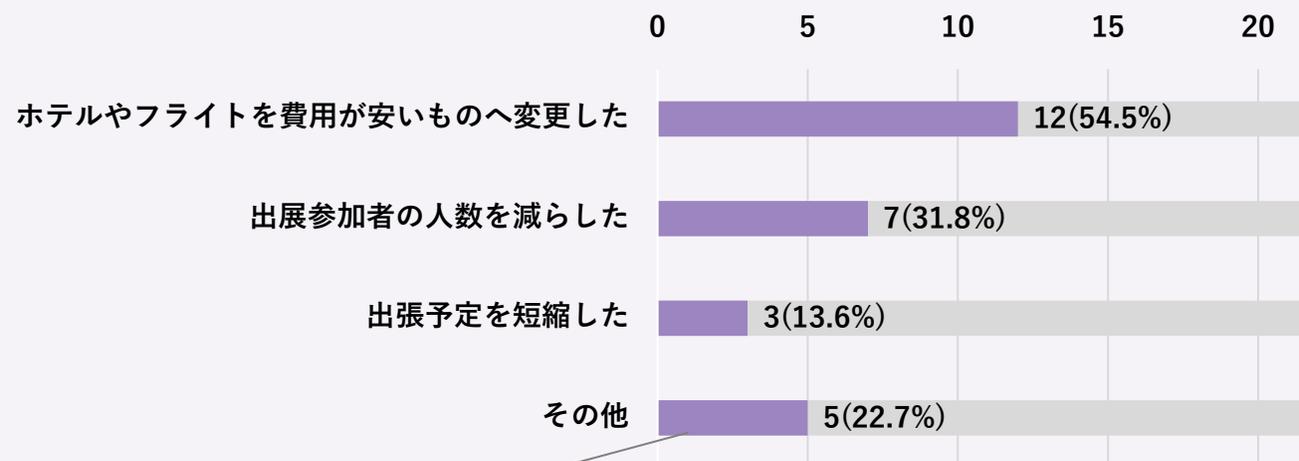
3-1. インフレ影響の有無 (単一選択)

回答数=29



3-2. インフレ影響の内容 (複数選択可)

回答数=22



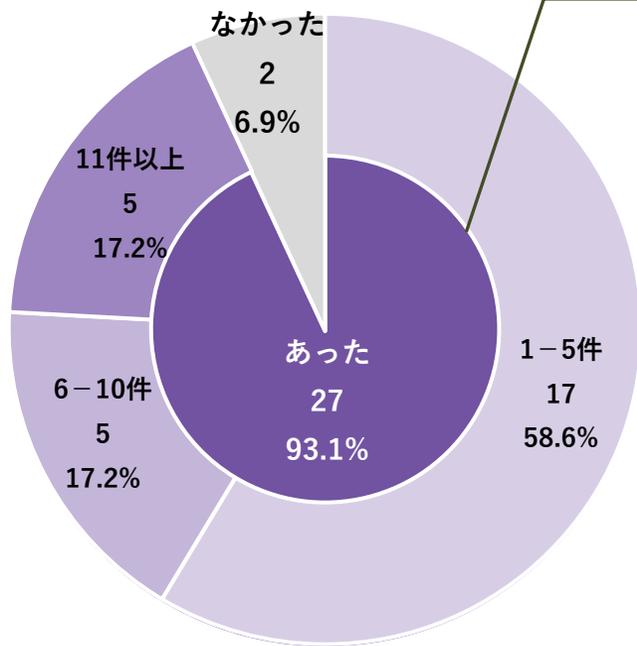
- 大学の旅費規程で定める金額以上のホテル宿泊について、学内調整を図った。
- ホテル代が学内規程を超える額だったため別途手続きなどに時間を要した。
- 出張費用の高騰
- 他のお出張回数を減らした
- 全体的な出費の肥大化

4

対面の大会では、事前のアポイント無しブース訪問が生まれやすいと思います。
貴学ブースでも「飛び入りの打合せ」がありましたか。

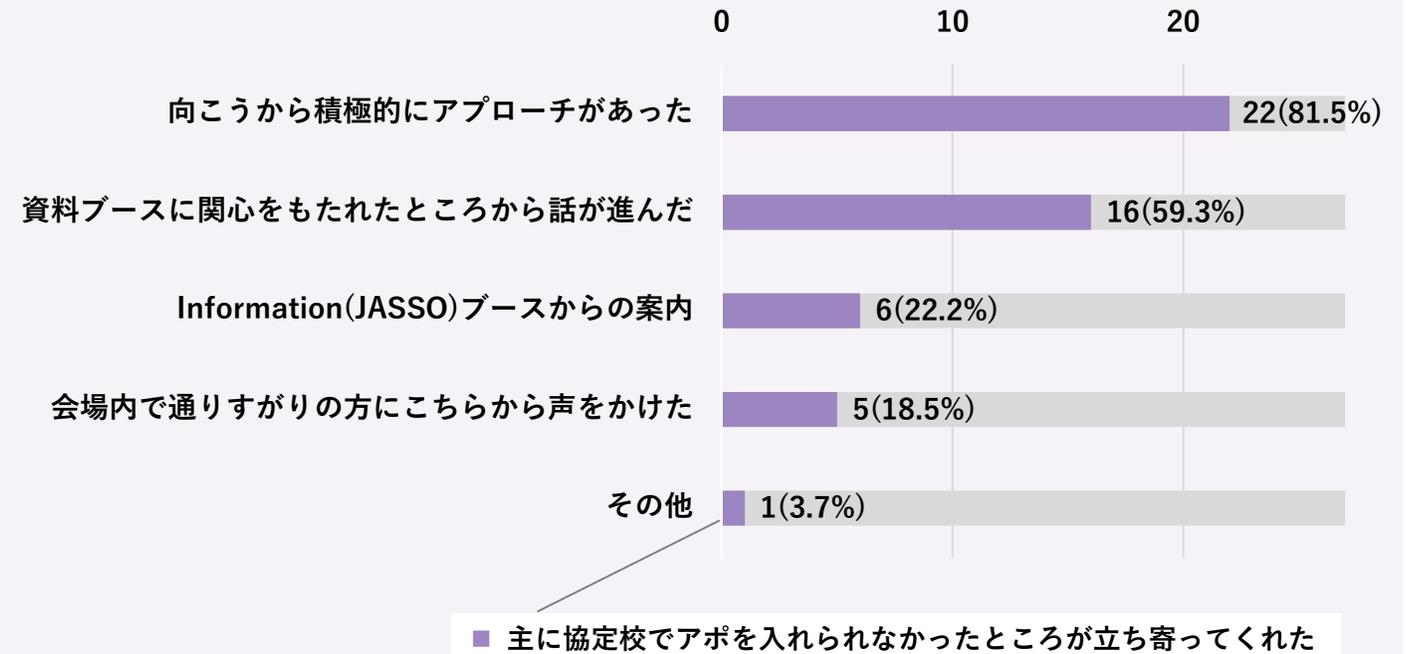
4-1. 飛び入りの打合せ件数 (単一選択)

回答数=29



4-2. 打合せのきっかけ (複数選択可)

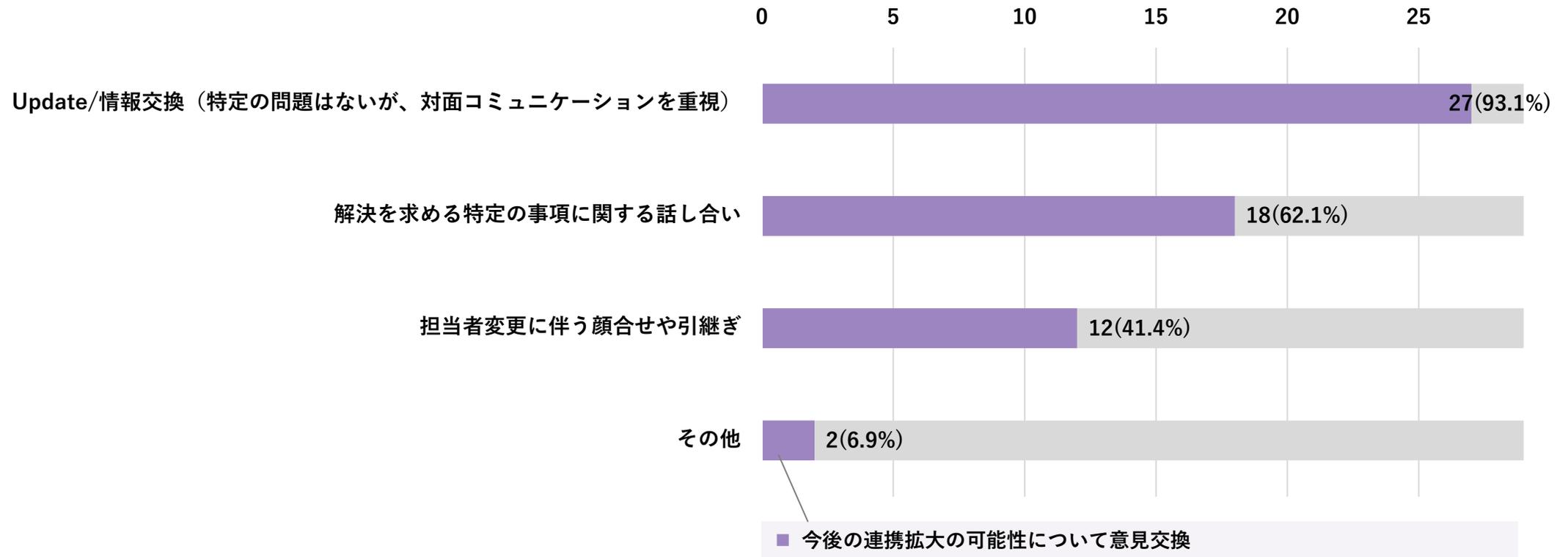
回答数=27



5

既存の協定校とは、どのような打合せをされましたか。

5. 既存協定校との打合せ内容（複数選択可） 回答数=29

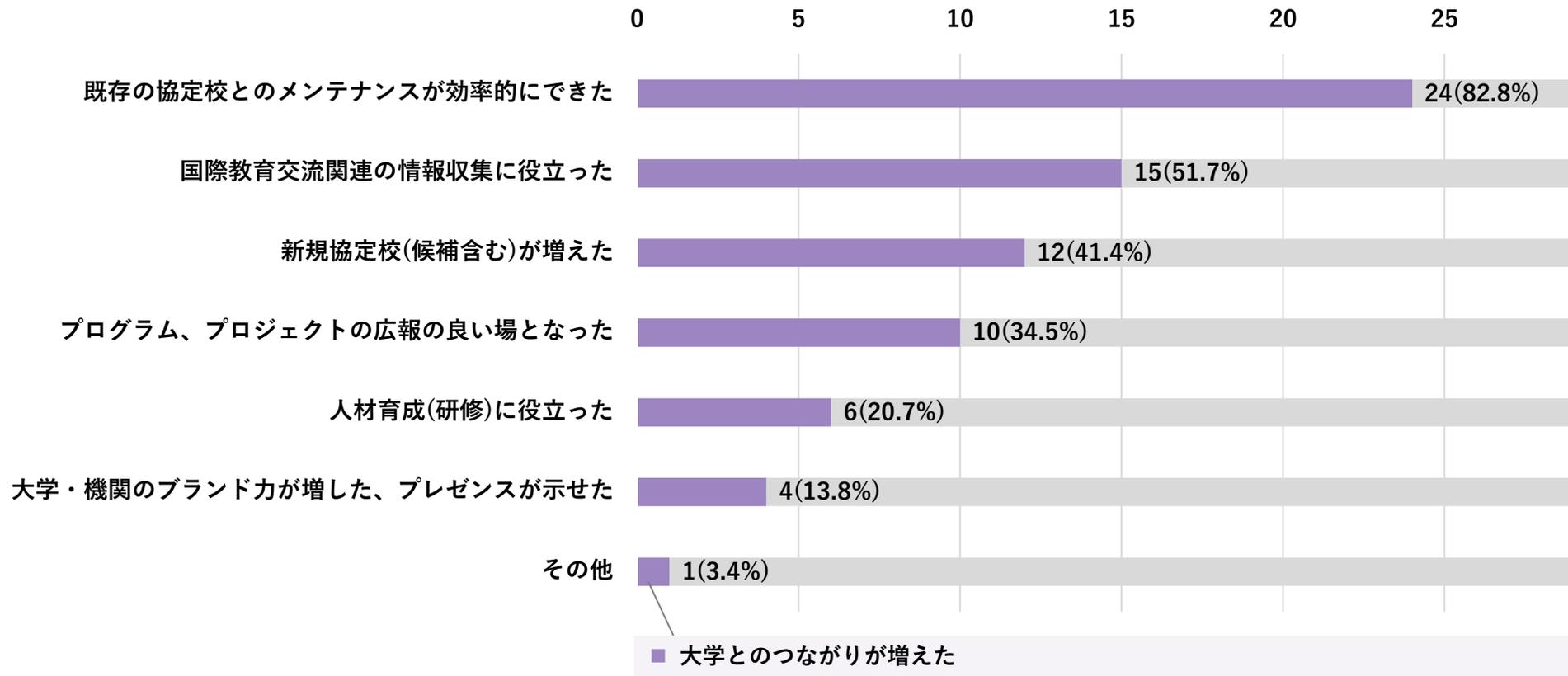


6

出展した成果について教えてください。

6-1. 出展成果（複数選択可）

回答数=29



6

出展した成果について教えてください。

6-2. 成果の具体的な内容（自由記述） 回答数=19

- 今まで提携のなかった南米エリアやインドとの情報交換ができた。
- 今まで提携のなかった東欧等のエリアとの結びつきができた。
- 今まで提携のなかった南米エリアとの結びつきができた。
- 従前よりメールで相談していた事項を、スムーズに懇談することができた。
- メールではなかなか通じなかったことの確認ができた
- 協定校候補とお互いの提携方針を確認できた。
- 既存協定校から受け入れている問題のある学生について、対応共有が出来た。本学に対して、どのようなプログラムが求められているかを知ることが出来た。
- ・大学職員の異動により人員が入れ替わるため、NAFSA大会参加経験のある職員を増やし人材育成（モチベーションアップ含む）に繋げることができた
・学生の健康問題に関する対応の情報収集を行うことができた
・協定校との面会を通して国際教育交流関連のトレンドの掌握やあらたな取組の可能性の示唆を得た
- 3校ほど協定校(候補含む)が増えた。
- インバランスが生じている／交流が活発でない既存協定校を中心に、お互いの情報をアップデートすることができた。
- 現在協定のない（少ない）地域にある大学との結びつきができた。
- まだ具体的な成果には繋がっていないが、いくつか学生のプロジェクト参加を検討中。

6

出展した成果について教えてください。

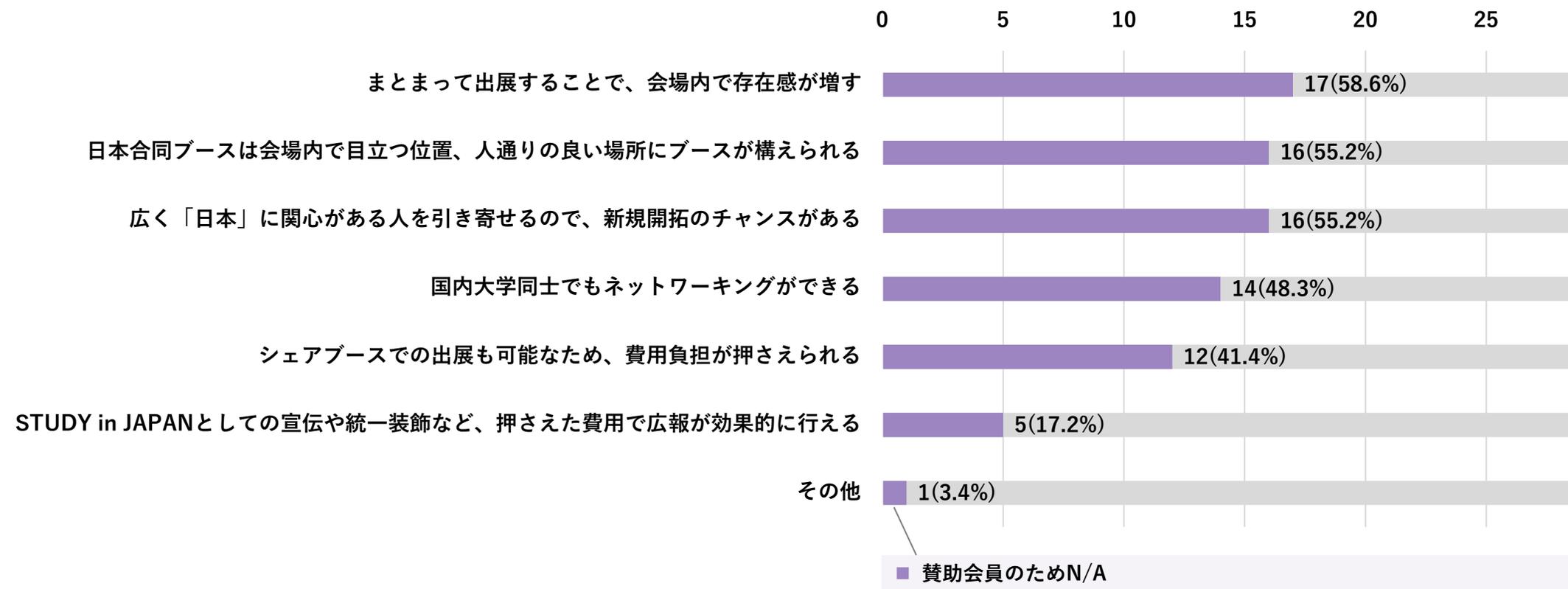
6-2. 成果の具体的な内容（自由記述） 回答数=19

- 今回、従来以上にセッションへの参加数を増やしたため、国際教育交流関連で幅広い情報収集ができた。
- 新規に導入した事業（プログラム）に対して、協定校担当者から率直な意見を収集することができ、今後に向けた課題を特定することができた。
- 各国政府の方針やビザ申請条件について、関係者に直接確認することができた。
- 連絡が滞っていた協定校の現在の担当者と顔合せができ、連絡を再開するきっかけとなった。
- 日本国内の大学と面談ができました。
- 留学先の様子や学生生活について理解が深まった。（寮やアルバイトの状況など）
- 現時点でNAFSA大会で協議した新規協定校9校程度と協議を継続しており、うまくいけば、協定校が増える予定である。
- 本学の三年次編入の可能性を探るため、短大とのネットワーク構築に興味があったが、セッションに参加することで複数の大学と情報交換ができた。既存の協定校とも最近の状況に関する意見交換および本学独自のプログラムの紹介のよい機会となった。COIプログラムで大会会場地元のルイジアナ州の高校生にもブースに立ち寄ってもらえた。

7

単独ブース(1大学のみで出展)でなく、「日本合同ブース」で出展するメリットをどこに強く感じますか。

7. 「日本合同ブース」出展のメリット (3つまで選択可) 回答数=29



NAFSA2024ニューオリンズ大会に 参加された感想や出展に関するご意見などをお聞かせください。

10. NAFSA2024の感想・意見（自由記述） 回答数=12 以下抜粋

- 出展することによる本学の宣伝効果、新規案件の取り込み可能性などメリットが多々あるので、費用対効果での判断となるが今後も出展を続けられると思われる。
- 日本チームとしてとてもまとまりよく運営されていたと感じました。
- 充実したミーティングを実施できました。今回はブースの立地もよく、良かったです。個人では7年ぶりの参加となりましたが、コロナ禍を経て参加者層が少し変わり、また各大学の国際化方針やインフレ円安の影響もあってか、これまで参加されていた大学さんが減っているような印象を受けました。
- 初めての参加でしたが、日本合同ブース内の周りの方々に色々情報をいただきネットワーキングができ、とても勉強になりました。単独ブースではおそらくないであろう日本合同ブース出展のメリットだと思います。
- たいへん忙しくも充実した1週間でした。予想以上に参加者の方々が積極的にコミュニケーションされていて、「コミュニケーション」こそがNAFSAだと感じました。なお、個人的にはCOIの取り組みで参加してくれた地元高校とも関係が持続できれば今後の日本留学に繋がるのではないかと期待しています。またセッションも予想以上に有意義で、まったく想定していなかった教育機関ともつながりができるなど貴重な経験をさせていただきました。